

**在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業  
【グローバル人材の基礎的資質形成プログラム】  
香港日本人学校×戸田市教育委員会**

**中間報告**

---

令和2年度1月31日（水）

香港日本人学校香港校小学部

田中 泰貴

# グローバル人材の定義

## 「グローバル人材」とは②

### ・「グローバル人材」の定義

○「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素。

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

○このほか、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークと(異質な者の集団をまとめる)リーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等。

○グローバル人材の能力水準の目安を(初歩から上級まで)段階別に示すと、

① 海外旅行会話レベル ② 日常生活会話レベル ③ 業務上の文書・会話レベル

④ 二者間折衝・交渉レベル ⑤ 多数者間折衝・交渉レベル

この中で、①②③レベルのグローバル人材の裾野の拡大については着実に進捗。今後は更に、④⑤レベルの人材が継続的に育成され、一定数の「人材層」として確保されることが極めて重要。

# 本プログラムの目的

## Aims of the Global Class —育てたい児童像

To develop students' English proficiency so that they are better equipped to communicate internationally.

グローバル社会で通用する、英語コミュニケーション能力を身につける。

To encourage students to develop the global skills required to succeed in the 21st century such as analytical skills, presentation skills, research skills and problem solving skills. 分析力やプレゼンテーション力、調査力、課題解決力などの21世紀に必要なグローバルスキルを培う。

To encourage students to become responsible global citizens while still maintaining their identity as Japanese citizens.

日本人としての意識をもちながら、グローバル市民としての主体性を育む。

## E 戸田市の英語教育

世界で活躍できる人間を育てるために

- ①地球規模の視野
- ②多様性の受容力
- ③異文化コミュニケーション力



小中一貫によるコミュニケーション能力の育成

- ①3×ECプランの推進
- ②小学校低学年からの英語活動・モジュール
- ③全校配置のALTとのTeam Teaching
- ④英語指導と評価におけるルーブリック開発
- ⑤英語検定受験費用助成事業（小6・中3）
- ⑥香港日本人学校との遠隔による交流授業

香港日本人学校と戸田市教育委員会の目指す児童像を実現するために、派遣者（香港日本人学校）と戸田市教委（美女木小）が連携したモデルを構築する。

# 具体的な取組案 (戸田市教育委員会案より)



## 戸田市×香港日本人学校 交流連携事業 ～在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業の活用～



### 戸田市と香港日本人学校との交流連携事業のねらい

### WIN-WIN連携モデルの構築

- 香港日本人学校が有する人材や地理的環境を活かし、高度なグローバル人材育成に向けたプログラムを開発
- 戸田市が有する産官学民の知のリソースを活用した教員研修を遠隔により実施

### 具体的な取組

「トビタテ！教師プロジェクト」（文部科学省）により、戸田市から香港日本人学校へ派遣されている教師と連携



### 香港日本人学校の強み

- 英語による日常的なコミュニケーション  
英語による算数・理科の授業（イマージョン教育）
- グローバルクラスのPBLカリキュラム

### 戸田市教育委員会の強み

- 産官学民の知リソースを活用した教員研修  
(アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、プログラミング教育、リーディングスキル等)



オンライン・Edtechによる交流  
(WebEX、グーグルグラス等)

### 今後の展望



- 戸田市から香港日本人学校へ定期的に教員を派遣（グローバル感覚をもつ教員の育成）
- 香港日本人学校大埔校の国際学級(Japanese International School)との連携（グローバル人材の育成）
- 国際バカロレア（IB）加入校との連携（Project Based Learning連携）

# 2018年度の取組

- ▶ 10月 香港プロジェクト スタート  
文部科学省初等中等教育局国際教育課海外子女教育専門官  
戸田市教育委員会教育長  
戸田市教育委員会事務局教育政策室主幹兼指導主事 香港校訪問
- ▶ 11月 美女木小・香港小 両校顔合わせ  
接続実験、接続上の課題の洗い出し、修正、改善案等
- ▶ 12月 プレゼンテーション授業公開（香港小）
- ▶ 1月 プレゼンテーション発表（美女木小）
- ▶ 2月 道徳授業・音楽授業公開（美女木小）  
学習発表会の公開（美女木小）
- ▶ 3月 会議・次年度に向けて



# 2018年度 成果と課題

## ▶ 成果

教員対教員、児童対教員の交流実現

接続上必要な機器の確認（高性能マイク、スピーカー、カメラ）

WebEXでできることとできないこと（複数隊複数）の把握

## ▶ 課題

授業形式での児童対児童の交流 未実施

時数の確保

児童の英語力の差

ネットワークの不安定さ

**遠隔交流のための  
環境整備**

# 2019年度の取組

- ▶ 4月 スタートアップミーティング
- ▶ 6月 児童対児童の交流  
英語で自己紹介、クラス紹介クイズ クラス対グループ×3  
英語で両国の祝日紹介、日本語で意見交換
- ▶ 7月 児童対児童の交流（文科省視察）  
英語で将来の夢について交流
- ▶ 10月 美女木小学校研究発表会 児童対児童の交流  
英語で2020東京オリンピックについて交流
- ▶ 12月 グローバルクラスのプロジェクト協力  
香港校児童から美女木小児童へのインタビューの実施
- ▶ 2月 児童対児童の交流（実施予定）  
グローバルクラスの児童発表プロジェクト

# 2019年度 成果と課題

## ▶ 成果

児童対児童交流の実現 → 児童の活動意欲の向上

英語表現活用の場の設定

プレゼンテーションスキルの向上（相手意識・伝達スキル・反応）

## ▶ 課題

児童の思いに沿った活動になっていたか（学びは深まったか）

児童の英語力の差

時数の確保

交流プログラムの一貫性

**交流プログラムの充実**

# 2020年度の方針について

## ▶ 交流プログラムの目標の問い直し

- ①英語コミュニケーション能力強化のため？
- ②地球規模の視野を広げるため？多様性の受容力を高めるため？
- ③日本人としてのアイデンティティーを育むため？

①をねらうには、語学力の面、児童数の人数比の面で厳しい。

②、③グローバル人材の育成だけではあいまい過ぎる。明確な目標と評価を。

案1 SDGsに関するプロジェクト型交流

案2 グローバルへの気付きを促すプロジェクト型交流

# 案1 SDGsに関するプロジェクト型交流

- ▶ 目標② 地球規模の視野を広げる
- ▶ 小学校5・6年対象
- ▶ 教科 総合、社会、理科
- ▶ 内容 ①地球で何が起きている？SDGsとは？  
地球温暖化 or 地球高温化？  
Climate change or Climate crisis？
- ▶ ②フードロス？数字で見る食料問題 → 問い
- ▶ ③リサーチ 家庭/学校 でのフードロス
- ▶ ④批評 ⑤発表会
- ▶ メリット 教科に関連させたプロジェクトで時間を捻出
- ▶ デメリット 教師主導型探究により、参加意識度の懸念

# 案2 グローバルへの気付きを促す プロジェクト型交流

- ▶ 目標②、③ 多様性への受容力向上、日本人としてのアイデンティティー
- ▶ 小学校6年対象
- ▶ 教科 社会、総合
- ▶ 内容 ①一日の生活から見える2つの学校の違い？  
当たり前を見つめなおす。なぜ違う？  
②他の学校は？インターナショナルスクールにweb訪問  
③日本と香港のつながりは？戸田にある香港？リサーチ  
④地域のつながり発表会
- ▶ メリット 児童の興味・関心が高いお互いの生活について知ることができる。
- ▶ デメリット 美女木小学校では学年一斉授業になる場面がある